

資料のダウンロード

アンケートへのご協力のお願い



<http://mind-isle.com/forums/0309/>

本日の講演資料は、オンライン・アンケートに
お答えいただくことでダウンロードできます。ご活用ください。

懇親会会場のご案内

2018年3月9日(金)17時~19時

伊藤国際学術研究センター ファカルティクラブ



主催：東京大学大学院教育学研究科 下山研究室 / マインドアイル株式会社

第1回 ICT 産学連携メンタルヘルス・フォーラム

経営戦略としてのメンタルヘルス —ICT 活用による解決策の提案—

2018年3月9日(金) 14時~17時

東京大学(本郷キャンパス) 教育学部棟 第一会議室

第1部 職場活性化のためのメンタルヘルスという逆転の発想

趣旨説明

下山 晴彦 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース 教授

メンタルヘルスへの企業の取り組みと今後の期待

栗田 昭平 日本コンピューターシステム株式会社取締役管理部長

産学連携への期待

阿部 祐子 東京大学産学協創推進本部プログラムオフィサー

第2部 メンタルヘルス活用のための発想の転換

企業のメンタルヘルス対策は本当に役立っているのか? —従業員の満足度との関連を中心に—

向江 亮 東京大学 特任研究員(前)
東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所
経営戦略調査室 ヒューマンファクターグループ 研究員(現)

組織活性化とメンタルヘルス 融合に向けて —チームワーク育成とメンタルヘルスをつなぐ—

大橋 正司 モニカ株式会社 代表取締役 CEO

第3部 ICT 活用によるメンタルヘルス・イノベーション

ICT メンタルヘルスの有効性：最新研究の成果から

菅沼 慎一郎 東京大学大学院教育学研究科 特任助教

ICT ポータルサイトを活用した人材育成とメンタルヘルスの融合

下山 晴彦 東京大学大学院教育学研究科 教授

AI 時代のメンタルヘルス・ケア

森田 太基 マインドアイル株式会社 代表取締役

懇親会

2018年3月9日(金)17時~19時

伊藤国際学術研究センター ファカルティクラブ

第1部 職場活性化のためのメンタルヘルスという逆転の発想

メンタルヘルスへの企業の取り組みと今後の期待



栗田 昭平
日本コンピューターシステム株式会社
取締役管理部長

1987年に株式会社アスクプランニングセンター（現 ASK PLANNING CENTER）へ入社後、同社取締役を経て1999年に日本コンピューターシステム株式会社へ入社。2009年より取締役管理本部長を務める（現任）。また2007年には関東ITソフトウェア健康保険組合へ互選議員として参画後、2016年より同組合理事を務める。

各種研修実施や相談窓口の設置など、当社のメンタルヘルスへの取り組みを中心に、CASJ(一般社団法人コンピュータソフト協会メンタルヘルス研究会)が実施したアンケート結果から各社の取り組み状況、並びに健康保険組合のメンタルヘルスへの取り組み状況について紹介する。

またそこから、現状のメンタルヘルス対策の問題点として明らかとなっている課題を提示すると共にICTを活用したメンタルヘルス解決策への期待について言及する。

第3部 ICT 活用によるメンタルヘルス・イノベーション

ICT メンタルヘルスの有効性：最新研究の成果から



菅沼 慎一郎
東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース/ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム(GCL) 特任助教

京都大学文学部を卒業後、東京大学大学院教育学研究科にて修士/博士（教育学）を取得。専門は臨床心理学で、日本文化に即した心理支援とインターネット認知行動療法を主な研究テーマとする。臨床心理士として、産業領域をはじめとする様々な領域のクライエントに対して認知行動療法に基づいた支援を行ってきた。

ICT (Information and Communication Technology) を活用したメンタルヘルス支援が近年注目を集めている。ICT メンタルヘルス支援の主要な方法としてインターネット認知行動療法 (iCBT : internet-based Cognitive Behavioral Therapy) があり、うつ病やパニック障害、强迫性障害など様々な精神障害に対する効果が実証されている。下山研究室ではインターネット認知行動療法研究の一環として、心の健康の維持・向上のためのICTツールを開発してきた。本発表ではICTを活用したメンタルヘルス支援の現状と動向について概説し、これまで開発してきたICTツールの概要と最新研究の成果について発表する。

第2部 メンタルヘルス活用のための発想の転換

企業のメンタルヘルス対策は本当に役立っているのか？ —従業員の満足度との関連を中心に—



向江 亮
東京大学 特任研究員(前)
東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所
経営戦略調査室 ヒューマンファクターグループ 研究員(現)

東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース単位取得退学。出版、IT等の中小企業での勤務経験後、東京大学大学院教育学研究科特任研究員を経て、2016年より現職。社員の働きがいやメンタルヘルス等をはじめとして、組織とそこで働く人々との関わりについて調査研究や現場支援等を行っている。臨床心理士・中小企業診断士・博士(教育学)。

メンタルヘルス対策を実施している企業の割合は増加傾向にあり、ストレスチェック制度の義務化や健康経営の推進など、企業のメンタルヘルス対策は様々な形で進展している。一方で、精神障害による労災補償の請求・認定件数は年を追うごとに増えつつあり、また、メンタルヘルス対策におけるサービスギャップの問題が指摘されるなど、企業のメンタルヘルス対策は本当に役立っているのだろうか、という素朴な疑問も生じる。本講演では、この疑問の検証の1つとして実施した調査の結果について紹介する。

ICT ポータルサイトを活用した人材育成とメンタルヘルスの融合



下山 晴彦
東京大学大学院教育学研究科
臨床心理学コース 教授

本学大学院博士課程を経て、本学学生相談所に常勤臨床心理士として勤務。その後に東京工業大学保健管理センター専任講師、本学准教授を経て現職。この間、某都市銀行カンセリングルームの非常勤臨床心理士として産業メンタルヘルスに関わる。また、精神科クリニックで非常勤臨床心理士として多くの社員のメンタルヘルス問題の解決支援を行ってきた。認知行動療法のICTツールの開発を行ってきている。

ポスト「働き方改革」に向けて、社員の心の健康を「管理する」発想から「支援する」発想へと転換し、仕事へのモチベーションやチームワークを高める方法を提案する。具体的には、社員がいつでも、どこからでも気軽にアクセスでき、自らの心の健康をモニタリングし、必要に応じて臨床心理士に相談できるポータルサイト「こころの手帖」を紹介する。会社は「こころの手帖」を提供することで社員が安心して仕事に専念する環境を整えることができる。その点で「経営戦略としてメンタルヘルス」が可能となる。

組織活性化とメンタルヘルス 融合に向けて —チームワーク育成とメンタルヘルスをつなぐ—



大橋 正司
モニカ株式会社 代表取締役 CEO
サイフォン合同会社 代表社員 CCO

東京大学大学院情報学環・学際情報学府修士課程修了（学際情報学）。インフォメーションアーキテクト。ウェブサービスやアプリの開発にデザインフェローとして携わり、多様なオンラインサービスのUXデザイン、UI設計、デザイン組織設計に携わる。インバーションと協働、チームのメンテナンスの関係に着目した組織開発ツール「Monica」を2017年より提供。

多くの職場では、周囲の人材、専門領域、雇用形態が多様化した中での「チームワーク」が求められており、社員が健康的で充実感を感じながらその能力を発揮するには、個を超えた組織の成熟と、「平均的な制度」を超えて多様な個のあり方と課題に向き合うメンタルヘルスケア、個別支援型の人事制度の充実が求められる。本講演では、チーム全体のリフレクションを通じて従業員満足度の向上を図るWebサービス「Monica」の事例を通じ、これからのメンタルヘルスケアにICTを活用していく上でのヒントを、組織開発の視点を交えて共有する。

AI 時代のメンタルヘルス・ケア



森田 太基
マインドアイル株式会社 代表取締役

AI開発のベンチャーにエンジニアとして従事の後、マインドアイルを立ち上げる。同社・代表兼リードエンジニア。

本格的なAI・ロボット時代に到来により、私たちの生活は便利になる一方で、環境の変化による新たなストレスも発生している。影響はそれだけではなく、職の縮小化に伴う求められる働き方の大きな変化も予想される。そこで、従来のメンタルヘルスケアと呼ばれる、ストレス状態の悪化を防ぐ予防や精神状態の治療・改善だけではなく、「これからの時代に必要なもの」として、今後のメンタルヘルスのあり方を提案する。またそれに際して必要となる、統合的にケアする場=プラットフォームについてデモを交えて紹介する。

第1回 ICT 産学連携メンタルヘルス・フォーラム

経営戦略としてのメンタルヘルス
—ICT 活用による解決策の提案—